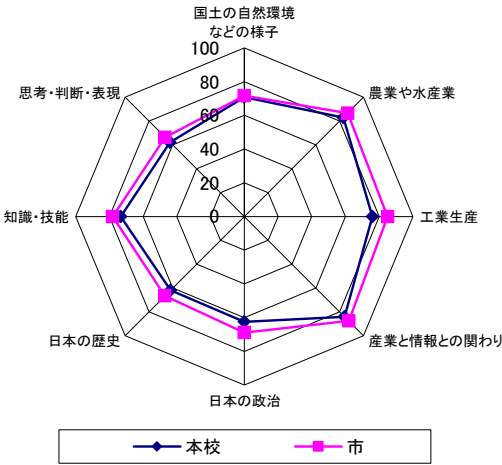


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	70.8	71.6	69.6
	農業や水産業	83.0	86.7	83.7
	工業生産	76.0	85.0	79.5
	産業と情報との関わり	84.1	87.7	77.4
	日本の政治	62.5	68.9	71.7
	日本の歴史	61.9	66.7	66.3
観点別	知識・技能	73.3	78.0	76.7
	思考・判断・表現	62.3	66.4	63.1

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ●地図を見て適切な海洋名を選択する問題や説明されている国の国旗を選択する問題では、市の平均より低かった。 ○日本の主な湖の名称を記述する問題では、市の平均を上回った。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・世界や日本の国土に関する問題では、ある程度の知識の定着が見られる。教科書に地名などが出てきた際には、地図帳を使って見つけたり調べたりする活動を取り入れ、地図を目にする機会を増やしていく。
農業や水産業	本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ○米の生産量が多い上位5都道府県について適切な表を選択する問題では、市の平均と同等であった。 ●水産物の流通の工夫について、図をもとに正しい文章を選択する問題では、市の平均を下回った。	・日本の食料生産については、日頃の生活を想起させながら自分たちの生活とどう関わっているのかを考えさせる必要がある。資料の提示の仕方や発問を工夫することで、どうしてだろうという問いを持たせ、主体的に調べたり考えたりする態度を育てたい。
工業生産	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ●自動車を作る順番をまとめた4つの絵のうち、1つを説明している文章と一致する絵を選択する問題では、市の平均を10.5ポイント下回った。 ●日本の工業の特色について資料をもとに記述する問題では、市の平均を8ポイント下回った。	・資料から分かることの読み取りを苦手とする児童が多いと考えられる。まずは、資料から分かることを読み取る活動を積み重ねていく必要がある。さらに、映像資料等を活用して視覚的に学べる授業展開をすることで、理解を深めることができるようにする。 ・記述する問題に課題が見られた。学んだ知識を生かして、自分の考えや学んだことをまとめる活動を繰り返し、書くことへの苦手意識を減らしていきたい。
産業と情報との関わり	本校の平均正答率は、市の平均と比べるとやや低い。 ○メディアの特徴について、テレビの特徴にあてはまるものを選択する問題では、市の平均と同等であった。 ●インターネットを利用する注意点について、文章中の空欄にあてはまる言葉を選択する問題では、市の平均より約8ポイント低い。	・それぞれのメディアの特徴については、普段の生活と関係しているものが多いことから正答率も高くなったと考えられる。今後は学習したことについて、経験を想起させたり自分の生活と関連付けて考えさせたりすることで知識の定着を図るとともに、インターネットの利用の仕方について実感の伴った理解ができるようにしたい。
日本の政治	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○日本国憲法で定められている天皇の地位や権限について正しい文章を選択する問題では、市の平均をやや上回った。 ●政治の仕組みについて、内閣の働きを理解して図にあてはまる言葉を記述する問題の正答率は17.3%で、市の平均より25.1ポイント低い。	・政治の仕組みについては、自分たちの生活と密接に関わっていることを実感させる必要があると考えられる。文章だけでなく図表にまとめる活動を取り入れ、自分たちの生活とどのように関係しているのかを話し合ったり話し合ったことをまとめることを通して、政治への関心を高めていきたい。
日本の歴史	本校の平均正答率は、市の平均と比べると低い。 ○安土桃山時代や江戸時代に関する問題では、正答率が市の平均と同等もしくは平均を上回る結果だった。 ●他の国を従えて大きな力をもった国の王の呼び名を記述する問題では、市の平均を16.8ポイント下回った。 ●「元と」の戦いについての理解をもとに、防塁について記述する問題の正答率は15.4%で、市の平均より13.1ポイント低い。	・記述する問題の正答率は低い傾向にある。新しい言葉や人物について学習する際には、興味関心を高める導入や学習活動を工夫し、教科書や資料集にある図や資料を効果的に活用しながら理解を深めたい。また、歴史におけるつながりや政策の意図などについて問題意識を持たせながら話し合い活動を設定し、自分の考えや学びをまとめることを通して少しずつ書く力を伸ばしていきたい。